

花みずき

令和2年2月号

-発行-
介護老人保健施設
保倉の里
保倉の里診療所

季節の変わり目を告げる「節分」

昔は『せち分かれ』と言って、季節の分かれ目である立春・立夏・立秋・立冬の前日を節分と言いますが、現在は冬から春になる立春の前日(2月3日)だけが節分として残りました。季節の変わり目には邪気(鬼)が生じると考えられており、それを追い払う豆まきが習慣となりました。先月、当施設でも豆まきを行い、ご利用者の皆様は一年間の無病息災を願い、力いっぱい豆を鬼に投げつけておられました。さぞかし鬼は痛かったでしょうが、ご利用者の皆様の為に奮闘していました。



職員内部研修

身体拘束・リスクマネジメント

「身体拘束・危機管理・事故報告書」の理解を深めることを目的とした研修会を開催しました。研修の前半は、厚生労働省が示す身体拘束の範囲、リスクマネジメントについての講義を行い、後半は過去の事例をもとに事故報告書の作成訓練を行いました。事故原因を十分に分析し、多角的な視点で対応策を考えることで、今後もより一層、事故対策、危機管理に努めてまいります。



新型コロナウイルス感染拡大に伴う面会制限について

昨年11月からインフルエンザ等の感染症予防のため、限定的な面会をお願いしてきましたが、**国内での新型コロナウイルス感染症の予防対策として、当面の間、面会をご遠慮ください。**ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

相談(苦情・意見)について

当施設におきましては、受付担当者、解決責任者、第三者委員を置き、利用者・ご家族からの相談(苦情・意見)に対応させていただきます。

解決責任者 施設長 高橋 規一(理事長)
受付担当者 支援相談員 内山 裕
第三者委員 横山和雄 (025-599-3329)
布施一郎 (025-594-3466)

発行



社会福祉法人くびき社会事業協会

介護老人保健施設 保倉の里

TEL:025-599-3990/FAX:025-599-3991

保倉の里診療所

URL: www.kubiki-sjk.or.jp

TEL:025-595-3123